

1

【主の導きの中を】

F Gm Am B♭ Gm C7
 主の導きの中を 私たちは進む
 F Am D7 Gm C7 F
 主の臨在をあおいで 進み続ける

B♭ C7 Am D7
 昼は雲の柱で 夜は火の柱で
 Gm C7 F
 主は私たちを導く
 B♭ C7 Am D7
 主は私たちの前を進みゆく
 Gm C7 F
 昼も夜もいつまでも

【きよい手をあげ】

F Gm
 きよい手をあげ 賛美に満たされ
 Gm C7 F
 感謝の心で 主をたたえよう

F F Gm
 主をたたえよう 主をたたえよう
 Gm C7 F
 感謝の心で 主をたたえよう

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り

イエス様のご愛に心をとめ、感謝と賛美の祈りをします

2. 悔い改めと主を慕い求める祈り

心にある罪を告白し、赦しを求めます。
また、主ご自身を求めて祈ります

3. 個人的な願いの祈り

主の御名によって大胆に何でも祈ります

4. とりなしの祈り

- (1) 新型コロナウイルスの収束と復興のため
(瀬戸の HP の「いのりの窓口」を参照に)
- (2) 家族・親族・友人知人・ご近所の方のために
- (3) 病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
- (4) 瀬戸カルバリーチャペルの働きのため
 - ・礼拝・祈り会を早く教会でもてるように
 - ・地域の方々に主の平安が届けられますように
 - ・牧師家族のため・ジョイキッズ・次世代のため
- (5) 日本のリバイバルと大和カルバリーチャペルのため

独りになれる所で、イエスは、自分の思いではなく、神の御心に従う決断をする力を得ました。自分の言葉ではなく、神の言葉を語る勇気を、自分の業ではなく、神の業をする力を見出したのです。

ヘンリ・ナウエン

瀬戸カルバリーチャペル

×Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂5-64 0561-48-8899

牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:005 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と詩人・八木重吉の「祈」にある「祈りの路」から名付けられました。

2

今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

イザヤ書63章9節

彼らのすべての悩みのとき、主も悩まれて、そのみ前の使をもって彼らを救い、その愛とあわれみとによって彼らをあがない、いにしえの日、つねに彼らをもたげ、彼らを携えられた。

ルカによる福音書7章12～14節

7:12 町の門に近づかれると、ちょうど、あるやもめにとってひとりむすこであった者が死んだので、葬りに出すところであった。大ぜいの町の人たちが、その母につきそっていた。

7:13 主はこの婦人を見て深い同情を寄せられ、「泣かないでいなさい」と言われた。

7:14 そして近寄って棺に手をかけられると、かついでいる者たちが立ち止まったので、「若者よ、さあ、起きなさい」と言われた。

ヘブル人への手紙4章15・16節

4:15 この大祭司(イエス様)は、わたしたちの弱さを思いやることのできないようなかたではない。罪は犯されなかったが、すべてのことについて、わたしたちと同じように試練に会われたのである。

4:16 だから、わたしたちは、あわれみを受け、また、恵みにあずかって時機を得た助けを受けるために、はばかりことなく恵みの御座に近づこうではないか。

3

黙想とところの投影の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

Q. 神様の愛とあわれみは、どんなに時に自分の上に注がれていると思いますか？

Q. イエス様の寄せられた「深い同情」は、どんな風に表されたと思いますか？

Q. あなたはどんな弱さをもっておられますか？

その弱さを思いやったださるイエス様の恵みの座に、どのように近づきますか？

4

みことばの解説

ある方がこんな文章を書いています。もし震災の経験のない人が、3.11東日本大震災で被災された方に、「大丈夫ですよ、やがて乗り越えられます」と励まして、「あなたにどうして、この痛みが分かるか」と反発されるでしょう。でも、阪神淡路大震災で被災された方が、「大丈夫ですよ、きっと…」と声をかけたなら、本当にそうなのだろうと、大きな慰めになるはずで、と。本当にその通りだと思いませんか？

今日の3つの聖書箇所に通じているのは、私たちと共に悩み、同情し、思いやったださる主のお姿。以前私は、このルカ7章のリビングバイブル(日常語訳)で非常に大きな慰めをいただきました。

痛々しい母親の姿を見て、かわいそうに思ったイエスは、「泣かなくてもいいのですよ」と、やさしく声をおかけになりました。(ルカ7の13 リビングバイブル)

イエス様のにじみ出るような優しさが聞こえて、心が温かくなりました。「泣かなくてもいいのですよ」と言ったださる御方は、ヨハネ11章では、ラザロの墓の前で、「涙を流された」御方。痛々しい姿を前に、同じように痛みを感じてください、同じように試練に遭ったださる。だからこそ、どんな困難な中にいても、私たちは「はばかりせず＝躊躇せず」に神様の恵みの座に近づいてお祈りすることができます。

世界中がコロナ・ショックで混乱しています。私たちの現実には、痛々しさや不安の涙が目立つようになりました。主はそんな私たちの悩みのときに、共に悩み、それだけでなく、私たちを持ち上げて運び出してください(イザヤ63の9)。またルカ7章で「泣かなくてもいいのですよ」と言われた後に、棺に手を置いて、亡くなったナインのやもめの息子を癒し、立ち上がらせてくださいました。もちろんラザロも同じです。そんな力強いイエス様が私たちの味方であることを忘れずに、全幅の信頼をもって祈ってまいりましょう。